

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		くらしき作陽大学		設置者名	学校法人 作陽学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
音楽学部	音楽学科	60人	中一種免(音楽)	昭和41年度	56人	15人	15人	6人
			高一種免(音楽)	昭和41年度			15人	
	音楽教育学科	-	中一種免(音楽)	昭和50年度	17人	10人	10人	6人
			高一種免(音楽)	昭和50年度			10人	
食文化学部	現代食文化学科	80人	中一種免(家庭)	平成9年度	72人	6人	6人	2人
			高一種免(家庭)	平成9年度			6人	
	栄養学科	80人	栄教一種免	平成17年度	78人	4人	4人	1人
子ども教育学部	子ども教育学科	150人	小一種免	平成20年度	92人	86人	27人	32人
			幼一種免	平成20年度			80人	
			特支一種免(知・肢・病)	平成21年度			50人	
入学定員合計		370人	合計		315人	121人	223人	47人
備考	<ul style="list-style-type: none"> 「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 音楽教育学科は平成25年度より募集停止 							

大学名		くらしき作陽大学(大学院)		設置者名	学校法人 作陽学園			
大学院研究科・専攻の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
研究科	専攻	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
音楽研究科	音楽専攻	10人	中専免(音楽)	平成22年度	7人	4人	4人	2人
			高専免(音楽)	平成22年度			4人	
入学定員合計		10人	合計		7人	4人	8人	2人
備考	<ul style="list-style-type: none"> 「研究科・専攻の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 「免許状取得者数」欄の「実数」欄は研究科の実人数、「個別」欄は教職課程ごとの人数である。 							

大学名		作陽音楽短期大学		設置者名	学校法人 作陽学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
音楽学科	音楽専攻	40人	中二種免(音楽)	昭和38年度	46人	1人	1人	0人
	幼児教育専攻	40人	幼二種免	平成27年度	-	-	-	-
入学定員合計		80人	合計		46人	1人	1人	0人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 ・平成27年度より、作陽音楽短期大学音楽学科は音楽専攻と幼児教育専攻とに専攻分離。 ・作陽音楽短期大学音楽学科は、平成27年度の専攻分離により、中学校教諭二種免許状課程認定を受けている入学定員80名を音楽専攻の入学定員40名に減員。 							

大学名		くらしき作陽大学(専攻科)		設置者名	学校法人 作陽学園			
専攻科・専攻の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
専攻科	専攻	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
音楽専攻科	音楽専攻	10人	中専免(音楽)	昭和45年度	0人	0人	0人	0人
			高専免(音楽)	昭和45年度			0人	
入学定員合計		10人	合計		0人	0人	0人	0人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「専攻科・専攻の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は専攻科の実人数、「個別」欄は教職課程ごとの人数である。 							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成27年11月13日（金）

実地視察大学：くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

実地視察委員：坂越正樹委員，伏木久始委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については，おおむね良好に実施されている。引き続き教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を明確化・具体化するために教職課程に対する組織，教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目や，科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに，科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように，内容について教職課程運営部会を中心に再度検討すること。なお，シラバスの記載内容及び記載方針を定め，法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。

3. 教育実習の取組状況

- 子ども教育学部では市内近隣学校を教育実習先として確保しているほか、全ての教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている状況が確認された。引き続き、地元教育委員会・学校と連携を進め、巡回指導を含め、適切な実習指導に努めていただきたい。
- 中高の教育実習が母校実習になっていることから、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。なお、やむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価となるよう努めていただきたい。
- 幼稚園実習については、大学敷地内に立派な認定こども園があるので、観察実習などで活用していただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 学科別かつ免許種別に非常に丁寧な指導が行われており、高く評価できる。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 地域や教育委員会と連携ができており、特に特別支援学校との連携が強化されている。
- 今後も学生が地域へ出て、ボランティアやCOC事業で活動していただきたい。
- 倉敷では、貴学が地域の拠点であろうかと思われるので、現職教員の研修等、地域への貢献を期待する。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 教職関連図書・雑誌については、充実している。教職を志す学生が、教育に関する最新の情報を入手することができるように、引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。
- ラーニングコモンズ等、アクティブ・ラーニングに対応できる施設があり、その施設に対するアンケート実施など、充実を図ろうとする姿勢が評価できる。

7. その他特記事項

- 今後とも引き続き、教員養成の水準の維持向上に努めていただきたい。